

## 道徳科学習指導案

令和元年 9月10日 (火)

4年生

- 1 主題名 思いやりとは (内容項目 B 親切、思いやり)
- 2 資料名 せきが空いているのに
- 3 本時のねらい  
周りの様子に気づき、困っていると自分が判断した人に対して思いやる気持ちについて考える。
- 4 本時の展開

	学習活動	○主な発問 ◎中心発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点
導入 (七分)	(1) 「思いやり」について考える。	○「思いやり」とは… ・やさしくする ・声をかける ・教える ・困っている人を助ける	・「思いやり」に対しての自分の考えをそれぞれ捉えさせる。
展開 (二十八分)	(2) 資料「せきが空いているのに」を読む。  (3) 「ぼく」の視点から「思いやり」について考える。  個人やペア、グループでの話し合いを通して、多面的・多角的に考える。	○思いやりの場面はありましたか。 ・目の不自由な人のことを気にしている。 ・お父さんが声をかけた。  ◎「ぼく」がじれったい気持ちから、うれしい気持ちに変わったのは、なぜでしょう。 ・おじさんの気持ちが分かったから ・自分の気になっていたことが分かったから  ○なぜ、じれったい気持ちになったのでしょうか。 ・おじさんが何て言ったのか知りたい。 ・なんでせきに座らなかったの？  ○なぜ、うれしい気持ちになったのでしょうか。 ・おじさんもおとうさんにもここにこしていたから。 ・おじさんの気持ちが分かったから。 →おじさんの気持ちってどんな気持ち？  ※ 問い返しの発問例 ○せきが空いてなかったら。 ○目が見える人だったら。 ○たくましい元気な人だったら。 ○自分がお腹壊しているときだったら。	・「思いやり」の視点を持って資料を読み、登場人物の状況を捉えさせる。  ・問い返しの発問により、人によって困り感が違うことに気付かせる。 ・思いやりの形は、違っても、相手を思う心があれば、互いに心が明るくなることに気付かせる。  ・せきが空いていなかった場合や、目が不自由でない人の場合は？と問い返し、どんな状況・誰に対しても行うのではなく、相手の置かれている状況によってどう行動するとよいのか考えさせる。
終末 (十分)	(4) 今日学んだ「思いやり」についてまとめ、振り返る。	○今日学んだ「思いやり」ってなんだろう。(始めの問いに戻って、「思いやり」について考えの深まりを確認する)  ・困っている人を助けられること ・周りを見て、困っていると自分が判断した人に対して、手をさしのべられること	・「思いやり」に対する見方・感じ方を書き足して今日の学びをみんな確認させる。 ・振り返りの視点を与えて、今日の気づきや学びを振り返らせる。

### 5 本時の評価

- ・人によって、困り感が違うことについて分かったか。
- ・思いやりの形は違っても相手を思う心があれば、互いに心が明るくなることについて考えたか。
- ・思いやりの行動を誰に対しても行うのではなく、相手の置かれている状況によって、どう行動するとよいか考えることができたか。